

2021年度(第10期)の活動報告



2021年11月17日
ニッポンクラウドワーキンググループ

名称

ニッポンクラウドワーキンググループ
NIPPON Cloud Working Group (NCWG)

設立

2011年 11月1日 設立/活動開始

ニッポンクラウドワーキンググループ参加構成(2021年10月時点)

- メンバー企業 87社
- サムライクラウドサポーター 6人
- 協賛企業 19社



ニッポンクラウドワーキンググループ 2021年度スローガン

Beyond the Clouds !

『クラウドケイパビリティをスパイラルアップさせて、
新たな価値を創る！』

2021年度の活動方針

今だからこそニッポンクラウドワーキンググループが、新しい日常での新たな価値を生み出す**気づき誘発のコミュニケーションHUB(ハブ)**となり、参加者相互が、各社の強みをより深く知り合い、各社の強みを掛け合わせることで、各社それぞれが持つ**「クラウドケイパビリティ」**をスパイラルアップ(強相乗効果)させることを目的とする。

結果としてクラウドサービスの利便性の向上と日本のクラウドビジネスのマーケット拡大に繋げ(結)、日本から発出するクラウドビジネスモデル＝サムライクラウドの質(実)を高め、スパイラルアップさせることで新たな価値創出(結実)を目指す。

ケイパビリティ(Capability)とは、

- 高い品質や迅速なスピードなどライバル企業よりも優位に立てる能力
- 企業全体が持つ組織的な能力

➤ 企業が得意とする能力

- 企業成長の原動力となる組織的な強み能力
- 他社との差別化を図り持続的に競争に勝つ能力

クラウドケイパビリティ

『企業が得意とするクラウドサービス提供能力』 (ニッポンクラウドワーキンググループ)

ニッポンクラウドワーキンググループとしての 「クラウドサービス」の定義

『インターネットを介して利用
する経済的な価値提供機能』

「サムライクラウド」の意義

- 日本から発出するクラウドビジネスモデルの構築を意義としての「サムライクラウド」
- IDやアプリケーション、UI、DATA連携などの技術的意義としての「サムライクラウド」



2021年度活動概要

1. 新しい日常に対応した、会合および部会開催、ならびに参加者各社の紹介セミナーの実施、およびクラウドビジネスイベントの開催
2. 部会活動を中心に『サムライクラウド』の具現化とその利活用を図る
3. 『協業支援セミナー』『協賛支援セミナー』の開催支援
4. 録画配信など、ITコミュニケーションインフラを活用した、場所・時間にとらわれない、気づきに繋がる積極的な情報発信
5. 他団体との積極的な交流による活動支援、および、クラウドの利活用を核に、異業種団体とのより積極的な交流による活動支援
6. サムライクラウドサポーターの拡充
7. アクティブメンバーシップの拡充
8. 理事会および実行委員会の開催

2021年度の活動として

- 2020年度の報告会
- 会合 3回
- ご協賛支援セミナー 6回
- 部会活動

一年を通して、新型コロナウイルスへの安全対策としてオンライン中心で活動を行ってきました。

2020年度活動報告会及び特別講演会」

【日時】 2020年11月18日(水) 17:00～19:00

【会場】 市ヶ谷健保会館 2階会議室

＜第一部＞

17:00～ NCWG活動報告及び本年度の活動計画 報告会
報告会及び特別講演の動画をNCWG関係者のみFacebook
で視聴できます。

＜第二部＞

18:00～ 特別講演会
「ドローンとセンサー技術、クラウドへの有用性」
サムライクラウドサポーター
次世代宇宙システム技術研究組合
代表理事 山口 耕司氏

9周年のパーティにつきましては、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、今回は開催いたしませんでした。



2021年度の会合・協賛支援セミナー開催概要

1. 第63回 NCWG会合

テーマ:『ゼロトラストを理解し、クラウドにフルトラストをもたらせ!』

日 時:2021年3月3日(水)17:00~18:00(会合)
18:00~19:30(懇親会)

場 所:オンライン/講演形式

テーマ:Zero Trust Architecture

『クラウド利用にあたっての「ゼロトラスト」の現状と実質的な対応は?』

公立大学法人会津大学 客員上級准教授

株式会社コンピュート 取締役

三井物産セキュアディレクション株式会社

プリンシパル・コンサルタント 福原英之 氏

2021年度の会合・協賛支援セミナー開催概要

2. 第64回NCWG会合

テーマ：『未来へ繋ぐ技術、宇宙エレベータとクラウドビジネス！』

日 時：2021年5月26日（水）17:00～18:00（会合）

18:00～19:30（懇親会）

場 所：オンライン/講演形式

テーマ：『宇宙エレベーター実現への道のり』

宇宙エレベーター協会 会長 大野修一 氏

2021年度の会合・協賛支援セミナー開催概要

3. 第65回会合

テーマ:『クラウドケイパビリティをアップさせてビジネス機会
の損失をなくす!』

日 時:2021年9月24日(金)17:00~18:00

場 所:オンライン

形 態:メンバー発表

1. (株)アルティネット 代表取締役社長 宮原 哲也氏
『アルティネットの新たな取り組み～地方創生とパン屋さんDX』
2. (株)ユニリタ クラウドサービス事業本部
ITマネジメントイノベーション部長 真木 卓爾 氏
『withコロナ時代にユニリタが取り組んだこと』
3. (株)プロキューブ 代表取締役社長 中川路 充 氏
『協力会社もグループ会社もまとめてDXできる多段フェデレーションとは』

1. 2020年12月10日
株式会社NTTPCコミュニケーションズ
テーマ:『気づきを誘発させ、クラウドケイパビリティを
スパイラルアップさせる!』
2. 2021年4月27日
富士通クラウドテクノロジーズ株式会社主催
テーマ:『クラウドケイパビリティをスパイラルアップさ
せる』
3. 2021年6月23日
株式会社リンク主催
テーマ:『DXの成功は第三者目線がカギになる』

4. 2021年7月28日

NTTスマートコネクト株式会社主催

テーマ:『IoTプラットフォームで実現する収集・蓄積・
可視化・分析ソリューション』

5. 2021年8月25日

GMOグローバルサイン・ホールディングス(株)主催

テーマ:「クラウドケイパビリティをスパイラルアップさ
せて、新たな価値を創る！」

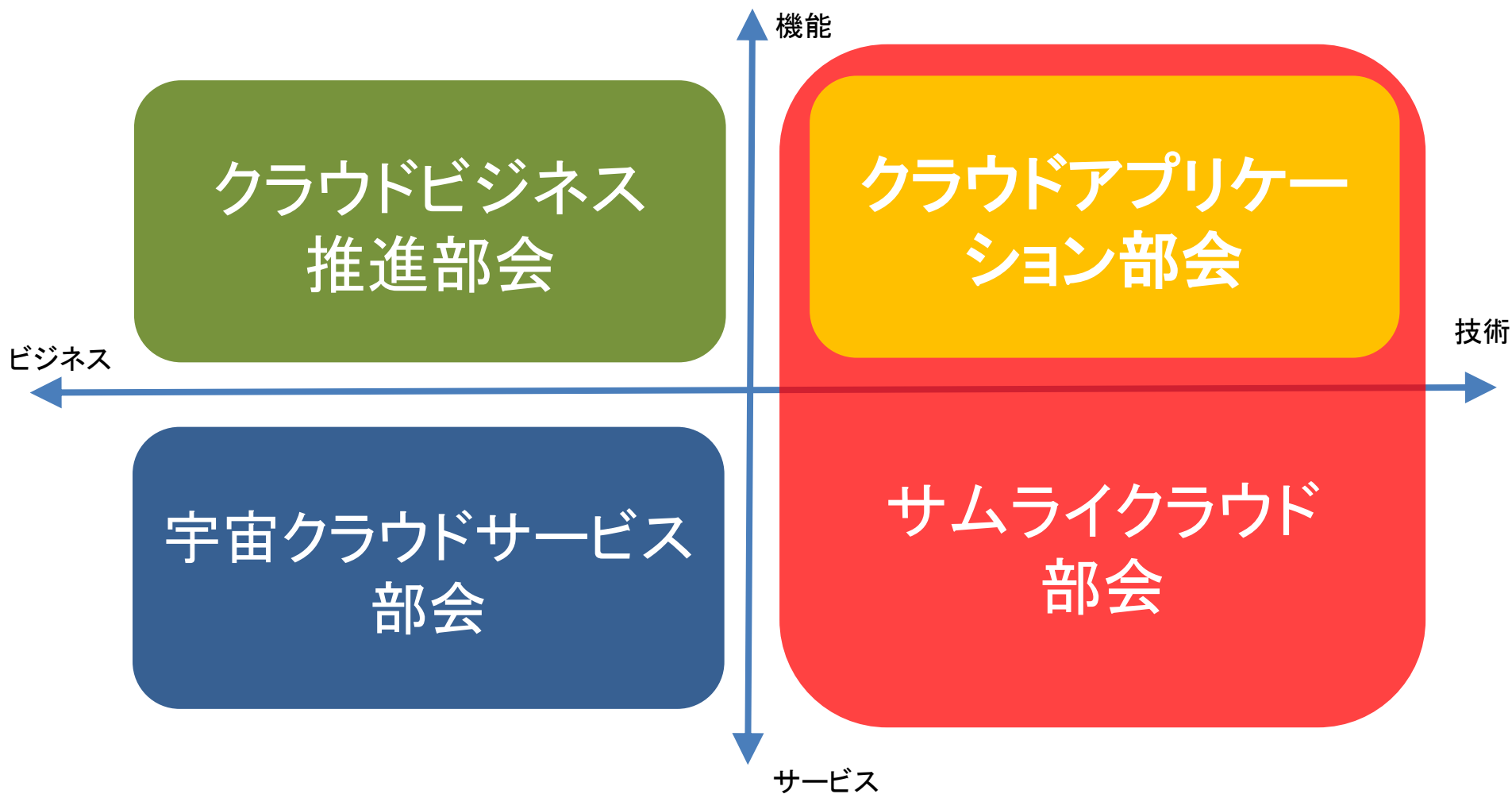
6. 2021年10月25日

さくらインターネット株式会社主催

テーマ:『クラウドケイパビリティをスパイラルアップさ
せて、新たな価値を創る！ 』

2021年度の部会活動

■部会のポジショニング



※「ビジネス」と「技術」、「機能」と「サービス」の二軸から会の活動範囲を表出

2021年度NCWG部会活動

2021年度の部会活動

- サムライクラウド部会
- クラウドアプリケーション部会
- クラウドビジネス推進部会

オンライン中心で行いました。

詳細につきましては、各部会長より行います。

また、宇宙クラウドサービス部会につきましては、新型コロナウイルス感染状況状況を考慮して2021年度は活動休止しました。

他団体との交流

後援活動として

- 一般社団法人 日本インターネットプロバイダー協会主催の「JAIPA Cloud Conference 2021」への後援
(2021年9月2日)
- NPO法人JASIPA主催
「JASIPA 協業フェア2021」への後援
(2021年10月21、22日)

理事会および実行委員会開催

会の運営活動である理事会および実行委員会につきましては、安全対策の面から全てオンラインにて活動を行ってきました。

2022年度(第11期)の活動計画



2021年11月17日
ニッポンクラウドワーキンググループ報告会



ニッポンクラウドワーキンググループ 2022年度スローガン

Beyond the Clouds2022 !

『クラウドケイパビリティを鍛え、ビジネスの相乗価値を最大化させる！』

➤ 2022年度の活動方針

ニッポンクラウドワーキンググループが、クラウドケイパビリティ(クラウドサービスを提供、利活用する能力)の鍛錬の場となり、多様な情報提供の機会と、各社の積極的意見交換の機会を提供することにより、各社のクラウドケイパビリティの向上へ繋げる。

また、クラウドビジネスの価値創造だけでなく、クラウドビジネスの変化・機微に迅速的確にビジネス価値を追従させることで、クラウドビジネスの価値を流動的価値から持続的価値へ変えることを目的とする。

ニッポンクラウドワーキンググループとしての 「クラウドサービス」の定義

『インターネットを介して利用
する経済的な価値提供機能』

ケイパビリティ(Capability)

- 高い品質や迅速なスピードなどライバル企業よりも優位に立てる能力
- 企業全体が持つ組織的な能力

➤ 企業が得意とする能力

- 企業成長の原動力となる組織的な強み能力
- 他社との差別化を図り持続的に競争に勝つ能力

クラウドケイパビリティ

『企業が得意とするクラウド提供能力およびクラウド利活用能力』

➤2022年度の活動方針

結果として、各社の持続的価値の掛け合わせ（相乗）による

- クラウドサービスの利便性の向上
- 日本のクラウドビジネスのマーケット
拡大

へ繋げ（結）、日本から発出するクラウドビジネス
モデル＝サムライクラウドの質（実）の向上と提供
価値の最大化を目指す。

サムライクラウド

- ✓ 日本から発出するクラウドビジネスモデルの構築を意義としての「サムライクラウド」
- ✓ IDやアプリケーション、UI、DATA連携など日本から発出できるクラウドサービスの技術的意義としての「サムライクラウド」

グランドクラウド構想

- ✓ サムライクラウドの理念を基軸に、ニュートラルな立ち位置から、あまねくクラウドサービスの技術的ビジネス的連携を実現し、全てのクラウドサービスを統合的に利用可能とすることで、あらゆる利用者にとって高い価値と利便性をもたらす

➤ 会の在り方として

ベンダーニュートラルな立ち位置だからこそ可能な活動によるグランドクラウド構想の促進およびクラウド全般のユーザー利用のための利便性の向上とクラウドサービス提供クラウドの利活用の促進に努める。

さらに会の活動を通して、会員各社の“知らない”ことによるクラウドビジネスの機会損失の防止に努める。

また、会の規模については、質を高めながら引き続き緩やかな拡大を目指す。

➤ 2022年度役員および理事

会長 小堀吉伸(株式会社北斗システムジャパン)
副会長 藤田浩之(有限会社シェルンコアテクノロジー)
副会長 野元恒志(有限会社ディアイピィ)
理事 尾鷲彰一(株式会社オープンウェーブ)
監事 大澤武史(株式会社ブライエ)
事務局 尾鷲彰一(株式会社オープンウェーブ)

➤ 各部会役員

■サムライクラウド部会

部会長 野元恒志(有限会社ディアイピィ)

■クラウドアプリケーション部会

部会長 尾鷲彰一(株式会社オープンウェーブ)

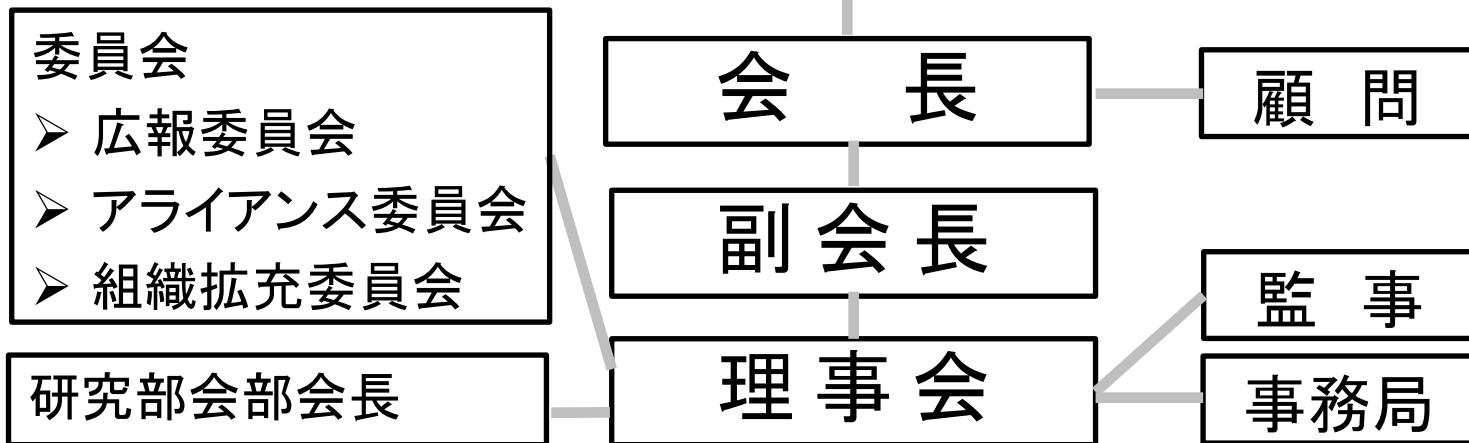
■クラウドビジネス推進部会

部会長 藤田浩之(有限会社シェルンコアテクノロジー)

■宇宙クラウドサービス部会

部会長 小堀吉伸(株式会社北斗システムジャパン)

NCWG組織図



実行委員会
(メンバー・協賛・サポーター)



2022年度実行委員

株式会社アルティネット	宮原 哲也
株式会社オープンウェーブ	尾鷲 彰一
株式会社クオリティア	佐々木 泰
株式会社ブライエ	大澤 武史/内田 龍
	横手 広樹/水木 真一
有限会社シェルンコアテクノロジー	藤田 浩之
株式会社DTS	木村 翠
有限会社ディアイピィ	野元 恒志
株式会社ドヴァ	井口 和彦/放生 浩一
株式会社北斗システムジャパン	小堀 吉伸
9社(13人)	

2022年度活動概要

1. 安心安全な会合および部会開催、ならびに参加者各社の紹介セミナーの実施、およびクラウドビジネスイベントの開催
2. 部会活動を中心に『サムライクラウド』の具現化とその利活用を図る
3. 積極的な『協賛支援セミナー』の開催支援
4. 会合およびセミナーの録画配信による、機会損失の防止
5. 他団体との積極的な交流による活動支援、および、クラウドの利活用を核に、異業種団体とのより積極的な交流によるクラウドビジネスへの活動支援
6. サムライクラウドサポーターの拡充
7. アクティブメンバーシップの拡充
8. 理事会および実行委員会の開催

➤ 2022年度会合開催について

- メンバー及びご協賛の協業によるクラウドビジネスの促進のための場創りとして、状況に応じたオンライン／安全安心な対策をとったリアル開催での会合および講演会等の活動を年間5回以上開催予定
- 各社の「強み」を積極的に表出させ、共有する
- 会合を始めとしたイベントでは、単方向の情報提供だけでなく、双方向のコミュニケーションの場を積極的に企画・提供する

➤ 2022年度部会活動

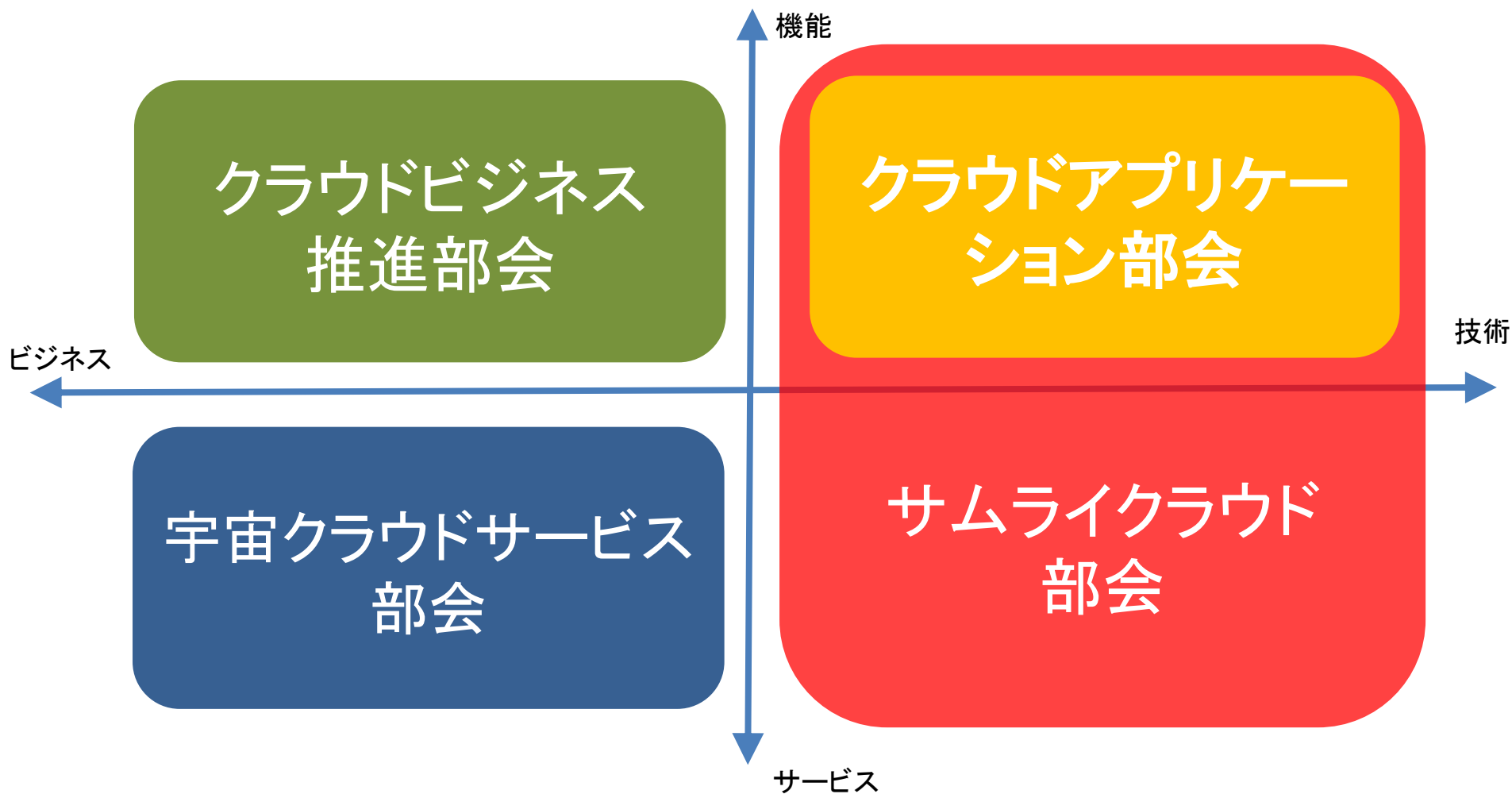
オンラインも活用し各部会とも定期的な部会の開催

1. サムライクラウド部会
2. クラウドアプリケーション部会
3. クラウドビジネス推進部会
4. 宇宙クラウドサービス部会

部会長連絡会や共同部会開催で密に連携を図り、
より効率的に成果がアウトプットできる活動を行う。

2022年度の部会活動

■部会のポジショニング



※「ビジネス」と「技術」、「機能」と「サービス」の二軸から会の活動範囲を表出

サムライクラウド部会 活動報告及び活動計画

部会長
野元 恒志

2021年度の部内発表・主な議題

<議論>

- ZTA(ゼロトラストアーキテクチャー)提言に向けた準備
- DockerのネットワークにおけるNAT時のudp通信とcontrac
- PPAP(ZIP暗号化メール)をやめよう
- 個人と会社所属の個人とのIDの考え方の違いと将来
- 2層(多層)フェデレーション
- SCEPデバイス毎の証明書の話
- Azure VNETにおけるMacAddressと特定製品における通信問題

活動実績

サムライクラウド部会 月一回 全11回開催

サムライクラウド2022年度の活動として

- SAML、OpenSocialをベースとしたビジネス活用のための研究開発の続行
- ZTA標準化の研究を行い、提言の準備
- SAML、Oauthなどの認証基盤の具体的利用例や、サービスに関しての評価議論
- 将来の認証技術に関するの最新テクノロジー評価

実際の活動として、

月一回の部会開催（リアル又はオンライン）

クラウドアプリケーション部会 活動報告及び活動計画

部会長
尾鷲 彰一

クラウドアプリケーション部会について

昨今では、クラウドの利用は、クラウドサービスとスマートデバイスや、他のハードウェアとの連携など、いわゆるIoT、AIへと発展しています。

例えば、水位の閾値を超えたらLINEで送るなど簡単に連携できるようになりました。

クラウドアプリケーション部会では、そういったクラウド関連の最新の技術の調査や検証から、実際にアプリケーションを開発するまでを行い、そこで得たノウハウを参加メンバー各社、また会合での成果発表などを通し、NCWGWに参加しているみなさん各社のサービスに活用できるアウトプットを提供していきます。

クラウドアプリケーション部会 2021年度活動計画

【テーマ】

続！IoTを本気(マジ)で使ってみる！

【活動内容】

- ・転倒ます雨量センサー、雷センサーを設置し、ゲリラ豪雨を予測する。
- ・梅雨時期から、夏場にかけて、データを取得し検証予定

【活動回数】

- ・年4回予定
※3月、5月、6月、9月を予定しています。

※今年度も引き続きコロナの影響でオンラインでの活動が難しい場合、活動内容を変更する可能性があります。

クラウドアプリケーション部会 2021年度活動実績

➤ オンラインにて4回の開催を行いました。

コロナ過のため、実機の設定/調整は部会長が自社屋上で行い、オンラインにて情報共有がメインでの活動となりました。

転倒ます雨量計で、雨量データをセンシング



クラウドアプリケーション部会 2022年度活動計画

【テーマ】

IoTのデータをAIする！

【活動内容】

・雨量センサーのデータを餌に、AIを使って天気予報をします！

【活動回数】

・年4回予定 ※3月、5月、6月、9月を予定しています。

※今年度も引き続きコロナの影響でオンラインでの活動が難しい場合、活動内容を変更する可能性があります。

クラウドビジネス推進部会 活動報告及び活動計画

部会長
藤田 浩之

■活動指針 & 活動内容

<活動指針>

1. クラウドを利活用してビジネスに繋げるための、リアルな情報で語り合う場を提供する
2. クラウドビジネスの創出と継続を促進する
3. “ニッポン”から発出するクラウドビジネス(サムライクラウド)のさらなる発展に繋げる

<活動内容>

- ・クラウドビジネスを深掘りする「クラウドビジネスサロン」の開催

クラウドビジネス推進部会 2021年度報告

『クラウドビジネスサロン』を計4回開催

第1回 2021年3月31日 開催

テーマ:「私のおすすめクラウドサービス！」

第2回 2021年5月13日 開催

テーマ:「RPAでクラウドビジネスを効率化！？」

第3回 2021年7月 5日 開催

テーマ:「クラウドビジネスの勘所、サブスクリプションビジネスへの挑戦！」

第4回 2021年9月 9日 開催

テーマ:「未来のクラウドビジネスに繋がるテクノロジー！」

クラウドビジネス推進部会 2022年度活動計画

引き続き、『クラウドビジネスサロン』をオンライン開催いたします。

様々なテーマをもとに参加者でディスカッションを重ねて、クラウドビジネスの価値創造と、持続的価値化の鍛錬の場としていきます。

是非、どなたでもお気軽にご参加ください。

第11期の活動にあたり

会合およびセミナー等の風景



NCWG報告会及び設立周年記念講演会・パーティ



Beyond the Clouds2022 !

『クラウドケイパビリティを鍛え、
ビジネスの相乗価値を最大化させる！』



SAMURAI
CLOUD

POWERED BY NIPPON CLOUD
WORKING GROUP

ニッポンクラウドワーキンググループ

ニッポンクラウドワーキンググループ この10年の活動を振り返って



SAMURAI
CLOUD

POWERED BY NIPPON CLOUD
WORKING GROUP